

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒130 東京都新宿区
愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者
渡辺 孝一

中郵便振替口座中
00150-4-15754
中銀行口座中
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

情報誌「骨髄バンク」創刊

本紙「全国協議会ニュース」の増刊号として情報誌「骨髄バンク」の創刊号が一月発行されました。

これは、今日まで骨髄バンクに関する情報が極めて公開を制限されている状況にあって、より多くの情報をより深く広く関係者と一般市民に知ってもらうために発行するものです。

「骨髄バンク」創刊号の内容

★巻頭言……………海部幸世
★日本の骨髄移植の草分け……………服部純一
★骨髄ドナーの日記……………梅田正造
★移植患者の手記……………油野千里
★座談会・医療改革も視野にい……………東井朝仁

「ボランティアたちの本音」

陽田秀雄、渡辺孝一、畑山茂房、野村正満、和田昭人、北

「私を変えた出会い」

佐藤絵美

★「骨髄移植医療体制の理想を求めて」公開シンポジウムより
村 猛

★日本の骨髄移植医療体制の現状……………幸道秀樹

●欧米におけるセンター化の意識……………岡本真一郎

●座談会「望まれるわが国の未来像」……………浅野茂隆ほか

★骨髄提供における同意に関する法律的側面……………宮田信男

★日本骨髄バンクのデータ分析……………野村正満

★エッセイ……………大谷貴子

「チャンス」……………アジヤ太平洋の骨髄バンク

★大阪シンポジウムより……………正岡 徹ほか

★「日本骨髄バンク」の創成期……………東井朝仁

★弁論大会最優秀……………佐藤絵美

★緊急提言「あと一年」でやるべきこと……………遠藤 允

★ドナー10万人達成への秘策……………遠藤 允

★骨髄移植関連最新医療情報……………遠藤 允

①CD34陽性細胞による骨髄移植……………加藤俊一

②固形がんと造血幹細胞移植……………河野嘉文・高上洋一

③臍帯血幹細胞移植療法と臍帯血バンク……………西平浩一

④骨髄移植と遺伝子治療……………谷憲三朗

★妻からの宿題……………陽田秀雄

★骨髄移植・骨髄バンク関連書籍一覧……………

平成八年度政府予算案 微増に厚生省満足!

抜本的大幅増額を望む

昨年末、来年度予算の大蔵原案の内示があり、復活折衝の後、政府予算案が確定しました。骨髄移植対策費としては総額五億七四〇八万円の大蔵原案は復活の対象とはならず、そのまま政府予算案となりました。この予算案は、厚生省の概算要求からは、財団の地区事務局増員の部分が削られています。予算案編成前に「骨髄バン

クを応援する若手国会議員の会」のメンバーは、大蔵省に予算に關しての要望を提出しました。その効果があつてか、緊縮財政の中で要求に対する減額幅はかなり少ないとの見方もあります。厚生省担当者は「若手の会」に対して、満足している旨のコメントを出しています。まさに自画自賛といった感じですが、しかし、要求の満額が盛り込まれたわけでもありません。全国協議会ではかねてより関連予算の大幅増額を要望していま

す。現在の公的骨髄バンクは、公的事業でありながら最初から一般からの寄付金をあてにした予算です。そのために骨髄移植推進財団は常に金庫が空っぽで、普及広報も満足にできない状態です。財団の広報予算よりボランティア団体の広報に使うお金の方が大きいという、なまじい状況を何とかしなくてはならない状況と望みます。一桁違う大幅増額を望みたいと思ひます。骨髄バンクの予算など、住専処理の七千億円と比べたら、まさにチリ一つの存在でしかありません。NPOとは……………福祉などで活動する民間非営利組織 Non Profit Organizationsの略称です。

関西地区公開シンポジウム

「骨髄移植医療体制の理想を求めて」
◆日時 '96年2月25日(日)
14:00~17:00
◆会場 サンピア大阪(厚生年金健康福祉センター)
大阪市住之江区南港東1丁目
◆主催 全国協議会(主管:関西協会)
◆内容
①講演 「日本の骨髄移植医療体制の現状分析」 名鉄病院・森島先生
②座談会 「骨髄移植医療体制の未来像」(パネラー)医師・看護婦・患者家族ほか
(問い合わせ先)06(977)2123 関西協会

ボランティアセミナー

(東海・北陸・近畿)
◆日時 2月24日(土) 14:00~
25日(日) 12:00~
◆会場 サンピア大阪
問い合わせは関西協会へ(上記)

与党NPO法案 今国会提出へ

新聞報道によれば、ボランティアの市民団体などに法人格を与え、活動を支援するための与党のNPO法案が明らかになり、今国会へ提案される見込みです。この法案に關しては、前号で新進党案の考え方について掲載しましたが、これで与野党案が出揃い、今後の動向が注目されます。与党案では、法人の活動範囲は一定地域から全国、海外までの広範囲になっており、所轄庁は都道府県です。また、税制上の措置では原則非課税とするほか、公益の増進に著しく寄与する法人に対しては寄付金についての特別優遇措置を講ずるとしています。

骨髄バンクの最新情報をお知らせする——骨髄バンクNOW

★'95全国大会盛會裏に終る
骨髄バンク推進月間にあたる昨年12月16日、東京江戸博物館において'95全国大会が開かれ、約550名の方が参加しました。全国協議会の方々にも当日の会場設営をはじめ、書籍コーナーを新設いただくなど(135冊売り上げ)ご協力いただきました。

★第1回地区普及広報委員オリエンテーション同時開催
全国大会の当日、地区普及広報委員のオリエンテーションが行なわれ、全国より57名の方にご出席をいただき熱心な質疑応答がなされました。また、出席できなかった12名につきましては、新年1月7日、財団事務局(東京新宿)におき同様のオリエンテーションを行いました。なお、地区普及広報委員に移植医と非移植医が参加します。現在、人選と委嘱を行なっております。

★平成8年度公共広告機構のテーマに骨髄バンクが正式決定
内容については今後検討されます。低迷のドナーリクルートを打開する、期待のメディア作戦と言えます。

★政府広報「骨髄提供者募集運動」TVスポットが放映
30秒もの 2月14日~3月12日まで
15秒もの 2月18日~2月24日まで
故 蔵間龍也さんが登場します。

日本テレビ、フジテレビ、テレビ東京、テレビ朝日など全国民放37局で総府府広報番組内などを中心に延べ1000回程度の放映を予定しています。

[検査済ドナー登録者 69,276人]
[患者登録者 3,675人]
[移植件数 610件]
(12月末現在)

★骨髄バンクへのお問い合わせは★
フリーダイヤル0120-377-465

全国イベントカレンダー

〈2月〉
7~12日 「あやちゃんの贈り物展」 沼津西武百貨店(静岡)
11日 「子供のための骨髄バンク教室」 府中グリーンプラザ(東京)
22~3月15日 「あやちゃんの贈り物展」 川崎(神奈川)

〈3月〉
3日 千葉県主催シンポジウム 千葉勤労市民プラザ(千葉)
9日 フォーラム「命のかけはし」 鹿児島市中央公民館(九州)
16日 ボランティアセミナー サンピア多摩(東京・千葉・神奈川)

— お問い合わせは事務局へ —

29日 公開シンポジウム 「骨髄移植医療体制の理想を求めて」(全国) 骨髄バンク登録推進ポスターコンクール (応募作品締切日(神奈川) サンピア大阪)



ガンバレ!! マサコ・マサオ 熱い熱いファンレターを ご紹介します。

「Dr.サイくん」はおもわず笑ってしまう面白い4コママンガです。

- ①サイ先生、婦長さん、マサオ君、看護婦さん、名前のない登場人物たち、どのキャラクターも個性的でなにかをやらかしそうな人だと感じています。
- ②大好きな絵柄です。面白い中にほのぼのと暖かみが伝わって来るのです。
- ③婦長さんのつのが生えていないやさしいところを見てみたいです。
- ④正弘さん病氣と闘いながら大変でしょうがぜひ「Dr.サイ君」を続けて下さい。雅子さん、正弘さんをささえて頑張ってください。お二人の幸せがたくさんやってきますように。
- ⑤これからは「Dr.サイ君」楽しみにしています。
(愛知県・杉山真幸さん)

心からのご寄付を ありがとうございました

12月21日~1月20日まで

越田武美	現金	3,000
川島広幸	現金	3,000
イシバシヒロキ	現金	11,858
桜井孝子	現金	2,000
ピアノ三重奏(東京の会)	現金	60,000
東京港南ロータリークラブ	現金	100,000
東京マリンロータリークラブ	現金	100,000
渡部征一郎	切手	909
山崎久江	現金	5,000
竹内公昭	現金	3,000
TDK成田工場・テクニカルセンター	現金	300,000
近藤恵美子	切手	495
カタギリタカシ	現金	1,000
伊藤裕子	現金	3,000
阿原一良	現金	10,000
稲次康三	現金	1,000
古谷克己	現金	10,000
荒川区社会福祉協議会	切手	601
ゴトウワタル	現金	3,000
原富治	現金	20,000
東急建設世田谷営業所	現金	20,000
松田有利子	切手	135
小野祐実	切手	702
一宮ライオンズクラブ	現金	500,000
ピアノ三重奏(埼玉)	現金	80,000

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

各地のたより

素敵な思い出 またひとつ

十二月十六日に、東京でクリスマスパーティー&忘年会を行いました。場所は、ライオンズクラブの小林さんに「スタジオサウルス」というところを、御好意によってお借りする事ができ、大変ありがたく思っております。まず、自分達の名札を作りました。これは、「自己紹介したものの、すべての人の名前を覚えきれない」というところから工夫したものです。この名前の書き方によって、それぞれの個性が表れていて良かったと思います。



にぎやかに、元気に。



東ちづるさんもかけつけて。

各地のたよりを写真を添えてお寄せ下さい。

で目立つように大きな幕と、大きな声でバンクへの登録を訴えました。午後は市内の中心部にあるデパート「山形屋」のアーケード下で、鹿児島山ライオンズ主催の「三献プラス」バンクキャンペーンに参加しました。三献とは、「献血」と同時に「献眼」「献腎」への登録を呼びかけ、会場で受付けています。四年前から当会も参加させていただき、「三献プラスバンク」の横断幕を献血バスに掲げて「チャンス」を配りPRを行いました。

このキャンペーンは、五月と九月にも行います。(牧園)

昨年十二月二十三日に東京交響楽団・首席チェリストのペアンテ・ポーマン氏をお迎えし、姫路白嶺ライオンズクラブチャーターナイト二十五周年協賛事業として関西骨髄バンク推進協会・姫路地区骨髄バンク推進センター主催でクリスマスチャリティーコンサート'95を開催いたしました。当日来場者約七百名、骨髄バンク推進への思いを羊に託し、患者さん家族より百匹のかわいらしい希望の羊(ぬいぐるみ)が提供され、ドナーへプレゼントされました。羊への思いを詩でいただいていますのでご紹介させていただきます。

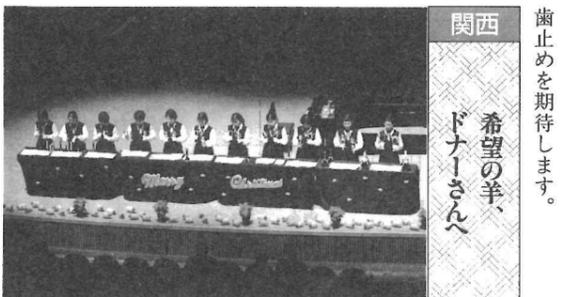
鹿児島 骨髄バンク「成人の日」キャンペーン

前回の新潟温泉旅行ツアーに引き続き、最後に心に残った気持ちは、「また、皆に会いたい。そして、話したい」という事でした。安らぎの場、ということも過言ではないと思います。(吉野)

新潟 推進月間、成人式でPR

十二月二十四日から一週間、骨髄バンク推進月間に合わせ、新潟一の高層ビルNEX T21において、中堀由希子さんのパネル展を開催し、同時に愛知の会が企画し収集している骨髄移植患者さんへの千羽鶴コーナーを設置し、一般市民の皆さんから約千五百羽折って下さいました。待ち合わせの場として絶好の同会場には、若者が多数待ち合わせの合間に展示パネルを見て鶴を折ると、大盛況のパネル展でした。

また一月十五日の成人式には、新潟市の新成人約五千人へ「ドカベンチャリ」を配布し、骨髄バンクを若い人達にPR出来ました。ドナー登録資格を得た彼らに、低迷傾向のドナー登録に



関西 希望の羊、ドナーさんへ

ほら耳を澄まして かすかにかすかに羊飼いの角笛の音が聞こえませんか。たくさんの心ある人に希望の羊を届けましょう。そして私達に生きる希望を与えてください。

千葉 命のつどい、ふれ愛コンサート

一月二十日に松戸市民会館で元殿様キングスの多田そうべいさんが主催する、「命のつどい・ふれ愛コンサート」が開催されました。当日は前夜から降りだした雪が止まず、あいにくの天気でしたが、地元の芸能サークルなど二十団体が、総勢約二百二十名の方が出演し、多くの入場者がありました。このコンサートは下は三歳の幼児から上は八十歳を越えるお年寄りまで、幅広い年齢の方が同じステージに立ち、内容も独唱・合唱・楽器演奏・ダンス・パレエなどバラエティーに富んだ、聴衆を飽きさせない大変楽しいものでした。コンサートの途中で骨髄バンクミニシンポジウムが行われ、多田さんの骨髄移植や骨髄バンクについての分かりやすい説明や、娘の骨髄提供者の出現を待ち望む母親の訴えなどもあり、会場に集まった人々の骨髄バンクへの理解が大いに深まったものと思われまます。(田中)

あなたとの病気と出会う

二度目の夏が終わる。三度目のお正月です。「クリスマスはお家ですか?」「お正月は帰れますか?」呼びかけてみても寂しくほほえむだけ。毎日、毎日。頑張つて、生きていてもまだ足りない。神様はおっしゃるのでしょうか。いえいえやっぱり信じています。「必ず元気になるよ」と祈る気持ちで作った羊に、大きくふくらんだおなかの中に希望をいっぱい詰め込んで



宮城 みんなに届いたあやちゃんの贈り物

昨年、宮城では「あやちゃんの贈り物展」を石巻(七月七)九



日)と仙台(十一月十一、十四)で開催し、大きな反響を呼びました。事前に各地での反響の大きさを聞いていましたので、どれほどの人が集まるものか期待と不安の中で開催でしたが、石巻で約千八百名、仙台では二千二百名の来場者を記録し、好評に終了することが出来ました。会場では絵の前で涙する人、いっしょけんめい感想文を書いている子など、それぞれの人が自分なりに、心の中に何かを感じ取っていたようでした。(もちろん、私たちボランティアもあやちゃんは、多くの人に「いのちの尊さ」を考えるきっかけを与え、「骨髄バンク」を知る機会を与えてくれました。さらに、私たちボランティアに、運動を進めていく大きな力を与えてくれました。これから、この心の贈り物をより大きなものに育てていきたいと思っています。



高知 情報伝達と登録実施への試行錯誤

骨髄ドナー登録を、時間的、人的並びに経済的に、如何に効

みほん

ク推進用のエコリーフ五万枚を発売した。県内ライオンズクラブは九千枚購入し、本人と葉書を受け取る人へのダブルPRを狙っている。

入院患者に材料を提供して紙製の「クスタマ」を制作してもらい、尻尾のリリアンに「骨髄登録ありがとう」と書いた短冊を付けて、高知県骨髄バンクセンターへ送っている。

一次登録をした時に差し上げているが、可愛くて評判がよい。家族へのPRも兼ね、二次登録の参加率向上を目指している。(下司)

率よく促進するかが求められている。各都道府県で、五か年十万人計画の目標割当て数を既に九十%以上達成された地区の方法を公開していただきたい。

我々は、シンポジウム、講演会、音楽会(千四百人出席し新聞でも取り上げられた)を開催し、また各種イベントに参加、新聞広告(二回で百四十万円)、テレビスポット、街頭のビデオによる電光掲示板(音声付き)、地方新聞読者の「ひろば」への投書、機関誌(あけぼの)一万部発行(県人口八十二万人)等を実施した。

しかし、反響は予期したほどではなかった。

次ぎは、若い人のボランティアとしての参加を計画している。十二月二十日には、骨髄バン

秦野純

(本名三主修平/愛媛骨髄バンクを支援する会代表)

しろがねの雲

新補陀洛渡海記 定価1300円(税込)

白血病を抱える人々の生死観を描き、生命の連帯を叫ぶ骨髄バンクを正面からとりあげた問題作!

潮出版社 千102東京都千代田区飯田橋3-1-3

フジテレビ

見ても見ぬふりは せらみちゃん